



2021年12月22日

介護家族のがんで困ったケアマネ7割も、半数が検診勧めず ～がん検診を勧める「きっかけがない」「チラシがあれば…」～

—ケアマネジャーをパネルにした要介護高齢者の医薬品独自調査『CMNR メディカル』第31回—

全国のケアマネジャー10万人が登録するウェブサイト「ケアマネジメント・オンライン」(<https://www.caremanagement.jp/>)、全国にリハビリ型デイサービス「レコードブック」(<https://www.recordbook.jp/>)を展開するなど、健康寿命の延伸に向け、様々なヘルスケアサービスを運営する株式会社インターネットインフィニティー(本社：東京都品川区、代表取締役社長：別宮 圭一)はケアマネジャーをパネルにした要介護高齢者の医薬品独自調査サービス『CMNR メディカル』にてがん検診に関するアンケートを実施しました。

■ 調査概要

調査名：CMNR メディカル (第30回) 「がん検診に関するアンケート」

期間：2021年12月6日～2021年12月12日

調査パネル：「ケアマネジメント・オンライン」に登録する会員ケアマネジャー(居宅介護支援事業所または地域包括支援センターに勤務)

調査サンプル数：512名

調査方法：WEB アンケート

■ 調査結果 (サマリー)

がんは早期発見・早期治療が重要であり、高齢者であっても早期発見によって治療の効果を期待できます。

また、要介護高齢者(介護保険サービス利用者：以下「利用者」)を支える介護家族のがんは、患者本人の問題にとどまらず要介護者や他の介護家族の生活にも影響を及ぼしていることが考えられます。

そこで、本調査では、全国のケアマネジャーを対象に、利用者とその家族へのがん検診の勧奨や、利用者家族のがんが要介護者の介護に及ぼす影響などについてアンケートを実施しました。

その結果、利用者家族のがんによって介護がうまくいかなかった経験があるケアマネジャーは約7割を占め、利用者本人だけでなく家族のがんもケアマネジャーにとって身近な問題であることが分かりました。

しかし、一方で、半数以上のケアマネジャーが、利用者とその家族どちらにおいてもがん検診を全く勧めていないことが明らかになりました。

勧めづらい理由として最も多かったのは「勧めるタイミングがない・分からない」でした。

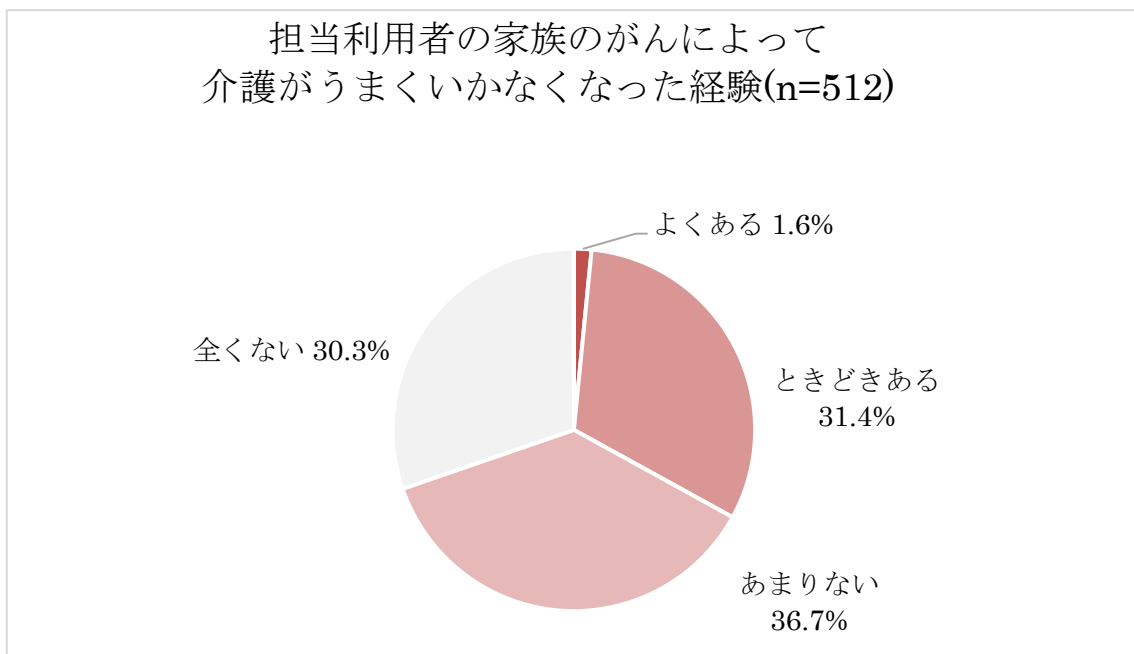
また、「がん検診の内容や意義を啓発するチラシ」があれば勧めやすくなったり、利用者やその家族ががん検診を受けやすくなると回答したケアマネジャーも多くいました。

ケアマネジャーは医療ニーズがある利用者を医療に結び付ける役割を国から期待されており、日常的に利用者やその家族に健康上のアドバイスや受診勧奨を行っています。

がん検診の勧奨においてもその働きを期待するためには、ケアマネジャーが勧奨しやすい状況をサポートするような取り組みが望まれるでしょう。

■ 調査結果

本調査の結果、利用者家族のがんはケアマネジャーにとって身近な問題であり、利用者本人の介護にも悪影響を及ぼしていることが分かりました。



利用者家族のがんによって介護がうまくいかなかった経験があると回答したケアマネジャーは、全体の約 7 割を占めています。

うまくいかなかったエピソードとしては、「他の介護者への負担が増大した」「在宅介護を望む利用者が施設入居を余儀なくされた」という例が多くありました。

<家族のがんにより介護がうまくいかなかった例>

- ・妻を介護する夫が肝臓がんになり自宅で療養していたが、嘔吐が続くなどで介護ができなくなった。そこで息子が二人の介護をするために介護離職した。
- ・主介護者（息子、自営業）が肺がんで入院。代わりに孫（未婚、自営業を手伝う）が主介護者になるも利用者は亡くなり、自営業も続けられなくなった。
- ・主介護者のがん治療のため介護費用を削る必要が出た。主介護者の精神的・肉体的負担と経済的負担で必要な

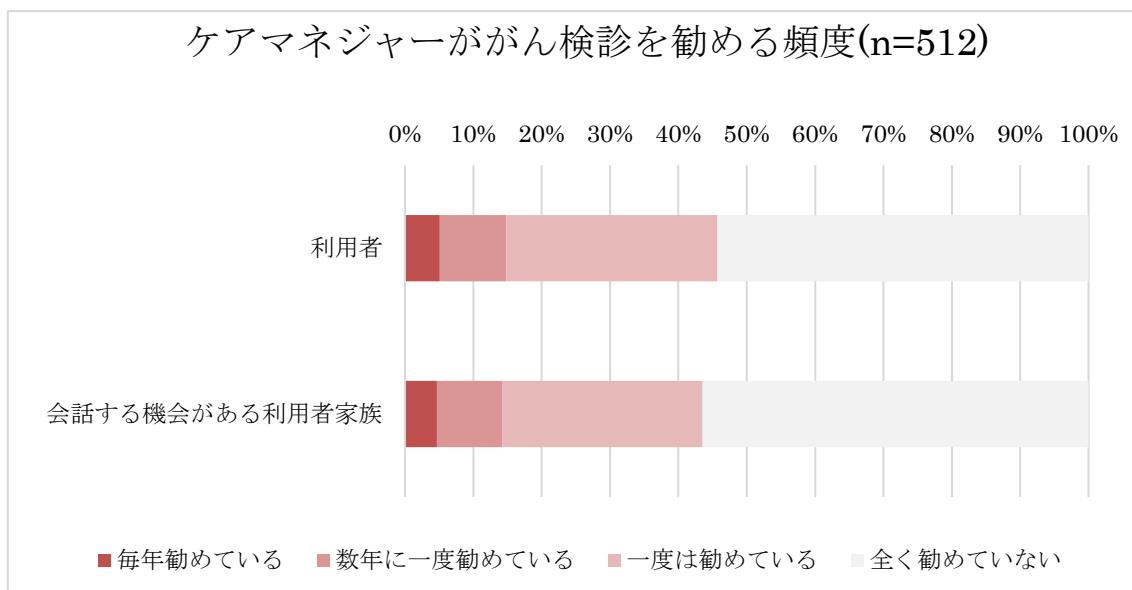
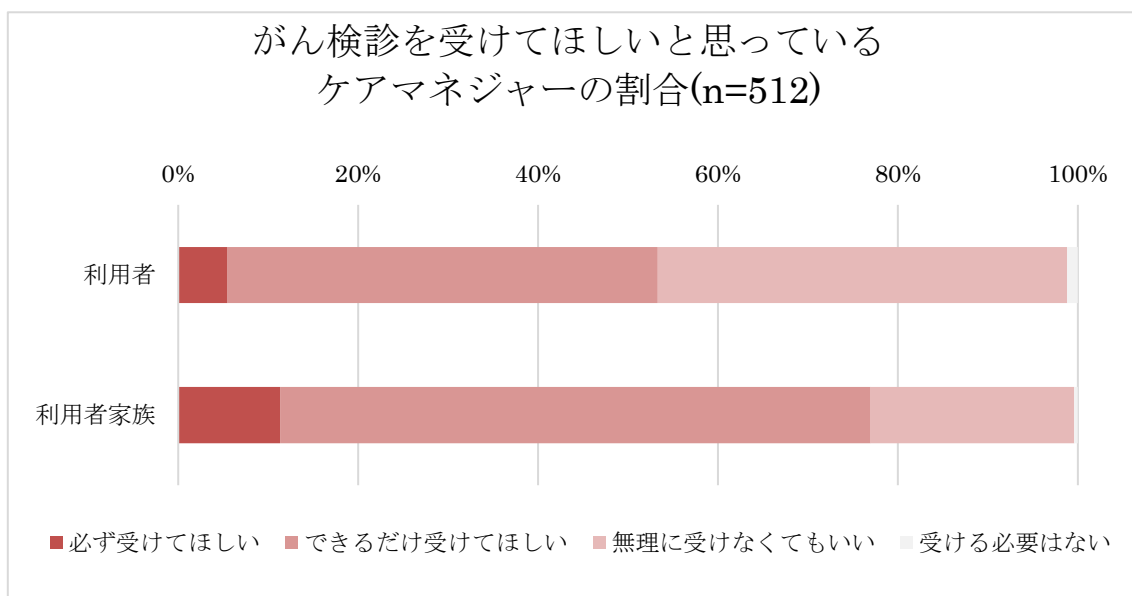
サービスが提供できず、関係者全員がしんどい思いをした。

- ・家族にがんが見つかり、要介護者が主介護者になった。立場が逆転。
- ・寝たきりの妻を介護していた夫にがん検診を勧めたが子供も無く、自分以外に介護する人もいないからと応じなかった。見つかった時には末期だった。
- ・主介護者ががんになりプラン変更や受診等が行えず、利用者は入院し3ヶ月後には寝たきりに。現在も病院や施設を転々としている。
- ・主介護者が進行がんになり介護ができず、利用者が施設入所を余儀なくされた。
- ・主介護者である妻ががんの入院治療のため不在となり、ケアプランの全面的な見直しが必要になった。

このことから、利用者家族のがんは利用者本人の介護支援にも影響が大きく、ケアマネジャーにとって重要な問題であることが分かります。

利用者家族のがんを早期発見・早期治療できていれば、このような不幸な事例は避けられたかもしれません。

しかし、利用者やその家族にがん検診を勧めているケアマネジャーは少ないことが明らかになりました。



まず、ケアマネジャーに利用者やその家族にがん検診を受けてほしいか尋ねたところ、その意識は低くないものの、利用者

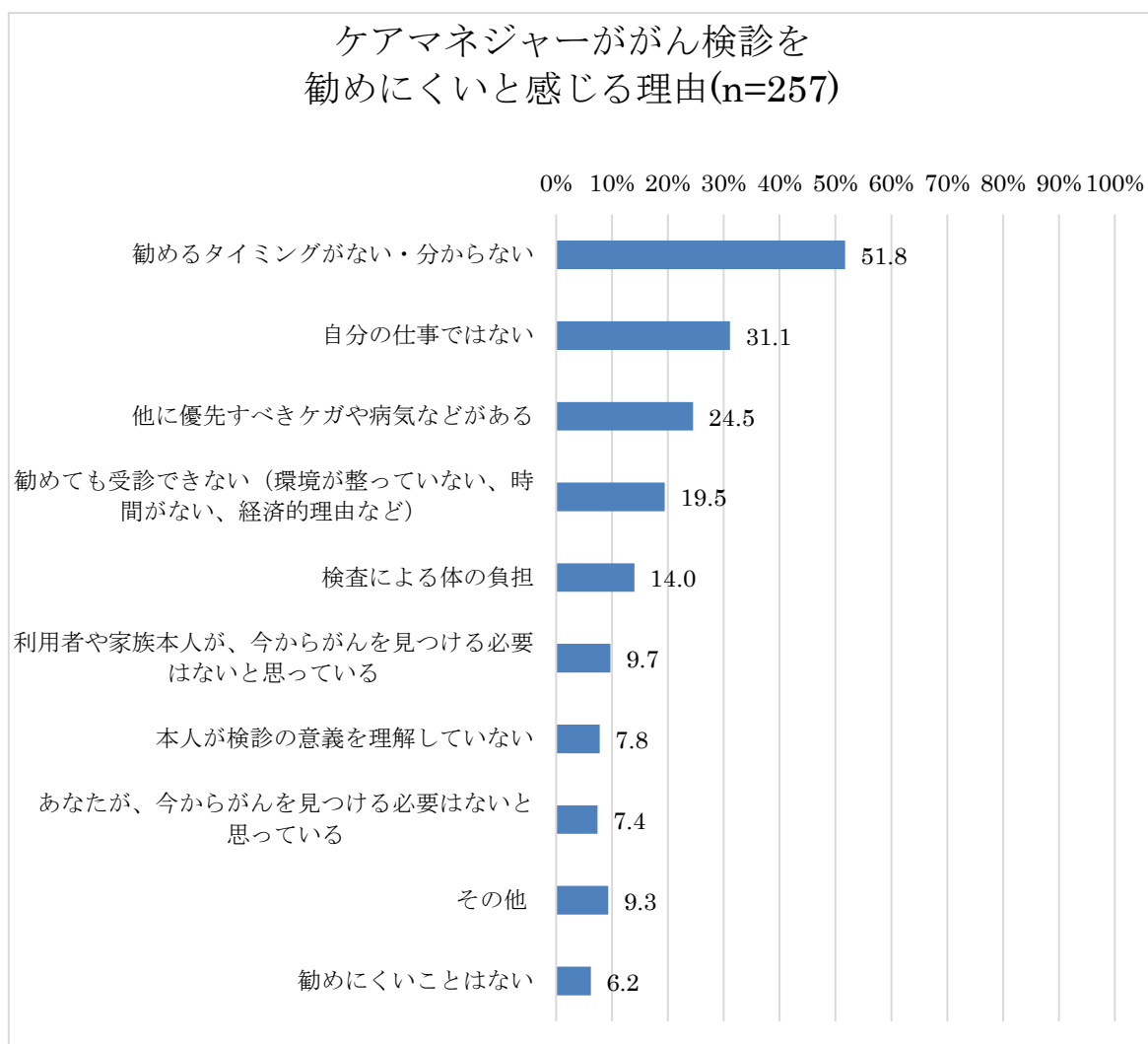
よりも家族に対しての方ががん検診を受けてほしい意識が高いことが分かりました。

このことから、ケアマネジャーは介護家族のがんのケアマネジメント上のリスクを警戒していることと、高齢な要介護者ががん検診を受けることに意義を感じていない可能性が考えられます。

次に、がん検診を勧める頻度を見てみると、利用者とその家族どちらにおいても、がん検診を「全く勧めていない」ケアマネジャーが半数以上いることが明らかになりました。

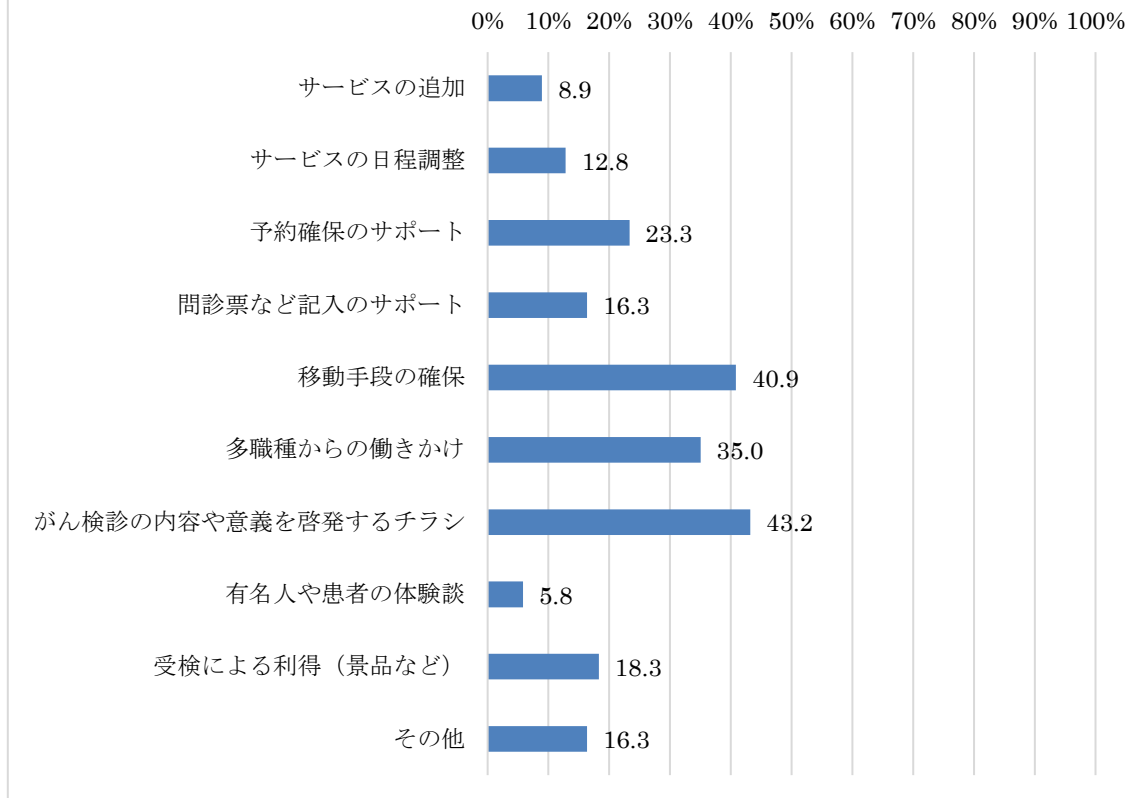
ケアマネジメント上のリスクがあることを理解しながらも、多くのケアマネジャーががん検診を勧められない理由は何なのでしょうか。

ここからは、利用者とその家族どちらにもがん検診を「全く勧めていない」ケアマネジャーの回答を見ていきます。



がん検診を「全く勧めていない」ケアマネジャーに勧めにくいと感じる理由を尋ねたところ、最も多かった回答は「勧めるタイミングがない・分からない (51.8%)」でした。

何があればがん検診を勧めやすくなったり 受けやすくなるか(n=257)



さらに、何があればがん検診を勧めやすくなったり、利用者やその家族ががん検診を受けやすくなるかという問いに、4割以上のケアマネジャーが「がん検診の内容や意義を啓発するチラシ」と回答しました。

これらのことから、がん検診を勧めるための理由やきっかけがあれば、ケアマネジャーの多くは利用者やその家族に対して働きかけるようになるのではないのでしょうか。

ケアマネジャーは日頃から、利用者やその家族への健康上のアドバイスや受診勧奨を行っており、がん検診の勧奨においてもケアマネジャーの働きが期待されます。

ケアマネジャーからがん検診を勧めてもらうためには、まずケアマネジャーにがんの早期発見・早期治療の意義を啓発する必要があるでしょう。そして、がん検診の意義を理解したケアマネジャーが勧奨できるようにサポートすることが望ましいと考えられます。

この他にも、

- ・がん検診を受けている利用者とその家族の割合
 - ・ケアマネジャーががん検診を勧めている利用者とその家族の割合
 - ・ケアマネジャーの勧めからがん検診を受けている利用者とその家族の割合
 - ・利用者家族ががん検診を受けられるようサポートしているケアマネジャーの割合
- などについて調査を行いました。

■ 本調査データ提供のご案内（無料）

製薬・医療機器関連企業ご担当者様には、本プレスリリース未掲載データ等、本調査の抜粋を無料提供します。脳血管疾患や循環器領域のご担当者様、多職種連携や患者への疾患啓発などデマンドチェーンにご関心をお持ちの方、は、ぜひお役立てください。

必要事項をご記入の上、「各種リサーチに関するお問い合わせ」を選択してご応募ください。

※過去に実施した調査については、ご関心のある領域等を「ご質問・ご相談内容」欄にご記入ください。（無料）

<https://www.caremanagement.jp/inquiries/company>

過去に実施した調査はこちら

https://prtmes.jp/main/html/searchrlp/company_id/12000

○ 医薬品マーケティングご担当者様へのご案内

インターネットインフィニティーでは、地域包括ケアシステムに対応したマーケティングの実現に役立つ**メールマガジン「介入マーケティング通信」（無料）**を配信しています。2020年11月の創刊以来、多くの製薬企業ご担当者様に購読いただいています。

「病院や医師中心の活動だけでは取りこぼす潜在患者の存在」

「高齢者に通院や服薬を継続してもらうには」

「今後の拡大が確実な在宅医療、どう対応？」

「地域の医師に本当に喜んでもらえる施策とは」

このようなお悩みをお持ちの方はぜひ購読ください。

<購読申し込み方法>

下記の URL または QR コードからお申込みください。（登録 1 分）

<https://www.caremanagement.jp/lp/medical/mail00?k3ad=ad2112pr>



■ ケアマネジャーへの情報提供（PR）のサポート

弊社では、全国のケアマネジャー10万人が登録するウェブサイト「ケアマネジメント・オンライン」を運営しています。これを利用して、ケアマネジャーを対象とした情報発信のサポートを承っております。また、郵送・FAX などを用いた情報発信や、調査パネルを用いた効果測定も行うことが可能です。これまでに、製薬会社をはじめ各種企業に情報発信の場としてご利用いただいております。

■ 記事引用時のお願い ■

・「ケアマネジメント・オンライン」調べ、と明記ください。

・WEB 上での引用に際しましては、「ケアマネジメント・オンライン」に <https://www.caremanagement.jp/>へのリンク付与をお願いいたします。

■■■ ニュースリリース及びサービスに関するお問合せ先 ■■■

株式会社インターネットイニティー Web ソリューション部（担当：酒井）

TEL:03-6697-5505 FAX:03-6779-5055 MAIL: ssakai@iif.jp

■■■ その他 IR に関するお問合せ先 ■■■

株式会社インターネットイニティー IR 担当

TEL:03-6779-4777 MAIL: ir@iif.jp